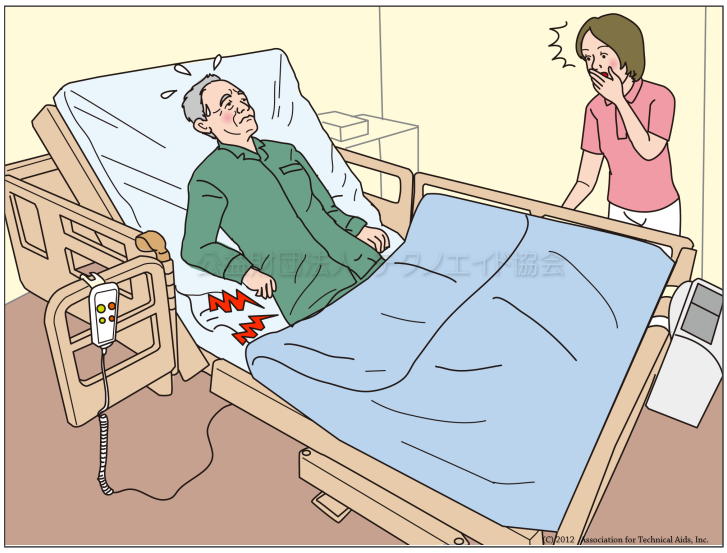
福祉用具ヒヤリハット　研修教材（講師用）

Case：214

背側をあげたまま長時間放置してしまい、臀部が底づきしてしまう

場面の説明

食事後も背あげ姿勢のまま放置してしまい、エアマットが底づきして臀部に痛みが生じた



利用シーン	起居・就寝
主な利用場所	寝室
介護保険の種目	床ずれ防止用具
分類コード (CCTA95)	033309 (特殊な褥瘡予防装置)
介護テクノロジー	ー
二次元バーコード	

解説

エアマットを使っていさえすれば床ずれの危険はない、という安易な考えが、介助者の中にあったのではないでしょうか。エアマット上であっても、背を上げる姿勢では臀部に重さが集中し、危険な圧がかかってしまいます。３０度以上の背上げにはリスクが伴うことを理解し、圧設定の切り替えや時間の管理など、床ずれを起こさない配慮が必要です。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

人：背下げを忘れていた
モノ：特定の箇所に圧力が集中するとマットが大きく沈み込む構造だった
環境：呼出ブザーなどがなく、助けを呼ぶ手段がなかった

作成：公益財団法人テクノエイド協会
Copyright 2025 Association for Technical Aids, Inc. All Rights reserved.

福祉用具ヒヤリハット　研修教材（受講者用）

日付：	所属：	氏名：

Case：214

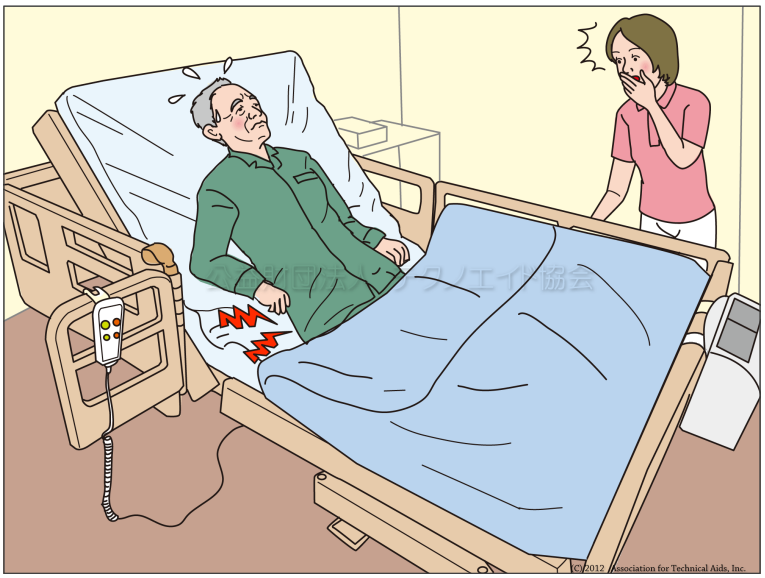
背側をあげたまま長時間放置してしまい、臀部が底づきしてしまう

事例詳細

回答前に見ないこと

場面の説明

食事後も背あげ姿勢のまま放置してしまい、エアマットが底づきして臀部に痛みが生じた



どのような要因が考えられますか？	どのような対策が必要でしょうか？
人（本人・介護者・関係者）の要因	
モノ（福祉用具）の要因	
環境の要因	
管理の要因	

メモ

作成：公益財団法人テクノエイド協会

Copyright 2025 Association for Technical Aids, Inc. All Rights reserved.